

表紙モノ語り

代親布

国名：ハンガリー

1988年収集、標本番号:H0161472**

ふかや ひとし
深谷 志寿

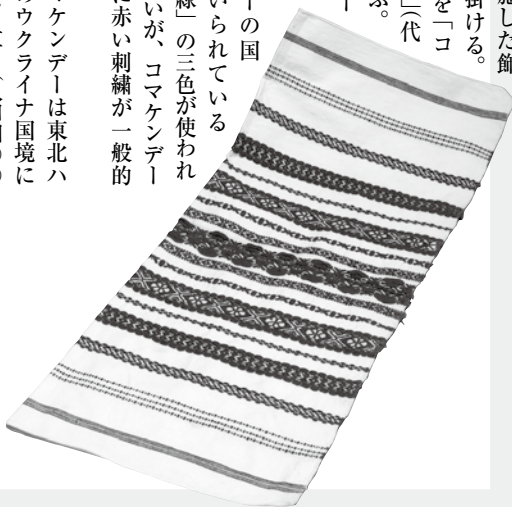
東海大学文学部ヨーロッパ文明学科准教授

高卒後、日本人として初めてハンガリーのブダペスト大学を卒業。
専門は言語学・ハンガリー語だが、民族問題や反体制ロック等の授業も担当。

日本語では英語の「ゴッドフ
アーザー」や「ゴッドマザー」
を（おそらくは、わかりやすく
するために）「名付け親」のよ
うに訳す場合が多いが、正しく
は「代父」「代母」の意味である。
ハンガリー語では「ケレストア
パ」（洗礼父）、「ケレストアニャ
パ」（洗礼母）とよばれるが、この「代
親」（代父母）は子どもにも名前
を付けるわけではなく、生まれ
たばかりの赤ん坊の洗礼式（ほ
ぼ日本の「初宮参り」にあたる）
のときに両親に代わってその
子どもを支え洗礼を受けさせ
る役を務める。この代父母とは
「義理の親戚」（コマ）の契りを
結び、本物の親戚以上に親密な

付きあいを続けていくことにな
る。代親は一生その子どもの親
代わりとなり、子どもにとつて
もつとも頼れる相談相手ともな
る。この代親には両親の親友夫
婦がなる場合が多い。
ハンガリー国内や、ハンガリ
ー人が多数居住するルーマニア
領トランシルヴァニアなどでは
いまでも地方に行くと、子ども
が生まれたときに親戚や友人た
ち（そして当然代父母の予定者）
がその子の両親に祝いのパンや
菓子を贈る習慣が残っている。
これはその子が無事に育つよう
にといい願いを込めた儀式であ
る。そのときにはパンや菓子な
どをカゴに入れて、その上に刺

繍などを施した飾
り布巾を掛ける。
この布巾を「コ
マケンデー」（代
親布）とよぶ。
ハンガリー
の民芸品に
おいては、
ハンガリーの国
旗にも用いられている
「赤・白・緑」の三色が使われ
る場合が多いが、コマケンデー
では白地に赤い刺繍が一般的
である。
このコマケンデーは東北ハ
ンガリーのウクライナ国境に
近いターコシユ村（人口四〇〇
弱）のものである。



**民博の標本資料目録データベースでは資料名「コマケンドヨー」である